



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校
学校だより
令和7年度1月号

【2026年(令和8年)が始まりました】

今年、6日10時18分に大きな地震がありました。落ち着いてすぐに机の下等に入って、動かないように押さえながら頭を守ることができたでしょうか。防災バッグの保存食や水、防寒用品、簡易トイレ等、必要なグッズを今一度確認したり、家族で避難所を共通理解したりしましょう。

今年、丙午（ひのえうま）の年で、情熱と行動力が際立つ年とされています。始業式では、「いろいろなことに積極的にチャレンジし、ますます成長してほしい」と児童生徒に話をしました。子どもたちの困難さや苦手なことの要因は個人にあるのではなく、社会や学校が多様な子どもたちがいることを踏まえたつくりになっていないことに起因しているかもしれません。すべての子どもがチャレンジしていくためには、子どもたちはそもそも多様であることを踏まえ、学校の在り方そのもの（環境、文化、ルールなど）を子どもたちの声を聴いて変えていき、社会や学校の側にある障壁（バリア）を解消していくことが必要な場合も出てきます。子どもたちのチャレンジのために、学校としてもさらに充実した教育活動を行っていきたいと思います。（校長 金島 一顯）

※令和8年岡山県交通安全年間スローガン「安全は 一人一人の 思いやり」に決定。

みなさんで、相手を思いやり、安全に努めていきましょう。

【つながりを意識した取り組み】

本校は知的障害、肢体不自由の2部門、小学部、中学部、高等部の3学部が設置され、現在は371名の児童生徒が学んでいます。全校児童生徒数においては、岡山県の特別支援学校の中で最大規模です。

大勢の児童生徒が在籍していること、様々な個性をもつ児童生徒が在籍していること、小中高の12学年の児童生徒が在籍していることは本校の特色の一つと捉えています。将来の自立と社会参加に向け、この特色を活かして横のつながり、縦のつながりを大切に学習を展開しています。

「横のつながり」では、主に合同学習を行っています。合同学習とは、A部門、B部門の同じ学年同士の交流の場です。実りの多い学習となるよう、担任団は事前に児童生徒の実態を共有したり、話し合いをして計画を立てたり、常に連携を取るようになっています。

「縦のつながり」としては、引き継ぎや進路学習などに取り組んでいます。進級には環境の変化がどうしても伴います。それに対する不安を少しでも軽減し、安心して学校生活を送れるよう、切れ目のない支援に努めています。また、児童生徒自身も少し先の自分を描くことができるよう、学部を越えた交流や進路学習を実施しています。

（主幹教諭 恩村 雅美）



〈高等部：校外宿泊学習〉



〈中学部：AB 合同お楽しみ会〉



〈小学部：AB 小1・2年共同作品〉